

雑木林ファンクラブ 通信

住所:〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

大好き 低山歩き

山歩き、それも低い山、里山歩きが大好きだ。20年近くになろうか、大阪に単身赴任、定を挟んで前後5～6年、関西での独身生活を謳歌した。土曜日にはゴルフか山歩き。何しろ関西は山が近く、家から電車小一時間で山の取り口に着く。遠くても2時間もかからない。300から1000メートルと低いが、山里を見下ろしながら尾根道を歩く楽しさ、空をおおう雑木の逞しさと静けさ、昼にはビールとワンカップ〇〇、何かあっても一時間で麓に降りつける安心感。一人歩きの醍醐味である。

宝塚、六甲や北摂の山々、京都の西山や比叡に生駒、葛城、金剛、奈良の山々…。明日は天気。お～し、六甲だ。有馬へ降りて温泉に入ろう。今夜は冷え込むな、星がチカチカしている。金剛山の樹氷だ…と独り身の気楽さを謳歌した。

生まれは神戸、と言っても、子供のころは兵庫県有馬郡道場村道場。神戸の裏山、六甲山を遠く南に望み三方を低い山に囲まれた小さな盆地の村である。戦後の町村合併で温泉の有馬と一緒に神戸に吸収された。ガスや水道はなく、秋口から冬にかけて山から雑木を伐出した一年分の薪や柴を軒下に積んでおき煮炊きに使っていた。そのような時代、田舎では当然のこと、子供も鋸と鉋を持って親と一緒に山に入り手伝いをした。と言うよりも、させられた。親も内心では心配であったろうが、何度も痛い思いをしながら、刃物の正しい使い方、木の切り方を身につけた。薪割りは中学生位になると原則子供の仕事。有馬鉄道の廃線跡を開墾しサツマイモやカボチャを植えていたそんな時代。草刈では隠れた石が鎌をはじいて軽い怪我は何度もした。無論、勉強はそののけ、子供達で野球を楽しみ川では魚取りに熱中。小説を読んでいると親父は「不良になるぞ、学校の本だけで十分だ」。

山登りよりも山歩き。思い返せば、低山、里山歩きが好きなのは、子供のころの刷り込みのせいかも知れない。木々の緑に囲まれていると心が和らぐ。心が落ち着く。落葉の森は明るくて見通しがよい。田舎の低山には、人影は見えなくても人と自然との関わり、生活の匂いが濃厚だ。息子は山と言えばアルプスか八ヶ岳。円海山なんぞ見向きもしない。一緒にハイキングに行ったのは小さい頃に2～3回？子育ての大切な時に、仕事、仕事、ゴルフで育て方を間違ったかな

藤原



青島ビールの故郷:Laoshan

総天然色画像が見たい方はこちらを
<http://zfc.yamagomori.com/Laoshan.html>

1. 6~7月の活動報告

- ① 6月27日(土) 晴 20人:トウネズ間伐、本窯炭材詰め、キャンドルナイト準備(材皮むき、ランプ)
- ② 7月4日(土) 晴 18人:竹林整備、本窯煙突清掃、キャンドルナイトスタンド製作
- ③ 7月11日(土) 曇 21人:竹林整備、クヌギ林下草刈り、炭焼き(本窯・ドラム缶窯)
- ④ 7月12日(日) 曇のち晴 7人:炭焼き(本窯) —良好な炭焼きでした—
- ⑤ 7月18日(土) 晴 22人:トウネズ間伐、クヌギ林下草刈り、運営会
" 夜間 曇 13人:キャンドル ナイト in さかえ(本郷台駅前)出展
- ⑥ 各水曜日に準活動日として木工作业を実施



なんだろう？本窯の煙突内側のタールを焼いているところ。綺麗？な煙が出ていますが、良質炭は出ませんでした(あたりまえ)。<鬼塚さん提供>



桜林の西側通路沿いのトウネズミモチをひたすら手切り。足腰と共に精神も鍛えられます！？



キャンドル ナイト in さかえ
7月18日夕方、本郷台駅前広場。上手く組み立てられるかは、地面次第？どうも相性が合わず、スペーサを噛ませレベルを出します。ところが、ある脚は切り込み面の水平が出ません。何故？



ストロボ無し、三脚無しのスローシャッター撮影は難しいもの。ボケ味が照明の消えたキャンドルだけの雰囲気を演出してくれました。
<片岡さん提供>

2. 8・9月度運営会の報告 (7月18日午後)

- ① 8・9月の作業打ち合わせ:3項を参照
- ② 8月1日(土)午後:横浜さかえ高校ボランティア体験(30名弱)支援
<サクラ林、セイタカアワダチソウ抜きおよび下草刈り>
- ③ 8月15日(土)午後**納涼会** 会費:500円(持ち込み大歓迎。飲酒される方は公共交通機関で)
- ④ 8月16日(日)正式活動日:「森を守るボランティア体験」の担当日
担当者:山田・赤羽・工藤・片岡・武田・関根ほか
- ⑤ 有害生物(ハチ)について・ポイズンリムーバ使用法勉強会 <http://zfc.yamagomori.com/extra.html>
- ⑥ 緊急連絡時・携帯電話通話可能場所確認 —P4参照—
- ⑦ 7~9月頃のエンジン工具使用は原則控える。観察の森来園者の多い時期に、自然の音や動植物の声を最大限楽しんでいただくため

3. ~9月度活動予定

- ① 7月25日(土) トウネズ除伐、クヌギ林下草刈り、炭出し
※「森のこどもまつり」関係者車両が入るので、2列縦列駐車のこと
- ② 8月1日(土) トウネズ除伐、本窯炭材詰め、午後:桜林下草刈り(横浜栄高校ボラ28人+PTA3人支援)
- ③ 8月8日(土) クヌギ林下草刈り、竹林整備
- ④ 8月15日(土) クヌギ林調査、午後:運営会および**納涼会**
- ⑤ 8月16日(日) 「森を守るボランティア体験」対応:クヌギ林下草刈り体験、午後:ゴロ報発送作業
- ⑥ 8月22日(土) クヌギ林下草刈り、製材、ベンチ作成
- ⑦ 8月29日(土) **活動休止日(炭小屋での活動はできません)**
- ⑧ 9月5日(土) トウネズ除伐・下草刈り・竹林整備の何れかを、状況に合わせて実施
- ⑨ 9月12日(土) 一同上ー
- ⑩ 9月19日(土) 一同上ー、運営会&勉強会「伐倒」
- ⑪ 9月26日(土) 製材、ベンチ作成
- ⑫ 毎水曜日:準活動日とする

4. その他

- ① **友の会 腕章」が足りません！ご自宅にないか確認ください。**
- ② 雑木林ファンクラブ通信が、インターネットでも見られるようになりました。

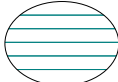
<http://zfc.yamagomori.com/index.html>

紙資源節約と郵送料削減およびCO₂削減のため、ネットでご覧いただける方は積極的にご利用ください。

5. 編集後記

- ・今回の巻頭コラムは、春まで会報の編集に腐心された藤原さんに寄稿いただきました。
画像は藤原さんが中国駐在時に撮影されたものでしょうか？ネットでご覧いただける方には、大きなカラー画像が楽しめます。由緒等を載せましたが、wikipedia英語版しかありませんでした(お許しを)。
- ・7月11日と18日両日クヌギ林の下草刈り作業中、2名がハチの被害に遭ってしまいました。服装や周囲に気を配って作業をしていただくことが最善ですが、「君子危うきに近寄らず」の知恵も生かしてください。
私(関根)もアシナガバチに上腕裏を後ろから刺されました。かなり痛く、ボランティア保険の手続き等のやり方を知っておこうと思い、医者(皮膚科)で診て貰い、センターから貰った書類で神奈川県青少年協会に事故報告をしました。後日、申請の流れ等を皆さんにお伝えしますが、手間も大して掛かりそうもないので、軽傷でも医師の診断を受けるように心掛けください。
通院で4,5千円/回が支給されますし(医療費は出ませんが)、何より負傷や事故を意識することは、ヒヤリ・ハットを減らし重大事故の発生防止につながります。

以上

携帯が圏外だった場合、に移動してセンター(045-894-7474)に連絡のこと

